

Presented by Kou Yamada

山田こう

俺

弱し、より
デカくて
召喚
士さん

成年
コミック

想いを遂げる無理矢理セックス

昔から
俺の人生は
最悪だった

親からの虐待に
学校でのイジメ

誰も俺を
救っては
くれなかった

……あれ？

異世界の
勇者殿

俺の名は
ヴィンター

召喚士
です

召喚？

だけど

ええ
そうです
勇者殿……

どうか
この世界を
お救いください

異世界召喚
という形で

あの世界から
連れ出してくれた
彼だけは……

俺の人生
唯一の
救いだ

それが約半月前の話——…

あなた
かい……

プリマベル
王女様と
勇者ナツミだ

『彼』が望んだから
きつとこの世界を
救うと決めた

勇者はまた
お一人で竜を
討伐したとか

さすがだな
姫に相應しい…

おい
ナツミ!!

…のだが

ビクッ

ヴァインター！

お前え…
また姫様を
たぶらかして
いるのか!?

ちよつと！
自分が召喚した
勇者様に失礼よ

なっ
むん
ですが
姫様！

その男が好き
だからといって
信用するのは
……!!

すツ…!?
そそんなんじゃ
ないですもん!!

俺を召喚した
宮廷召喚士
ヴァインター…

最初こそ友好的
だったものの
姫の側近でもある彼は

警戒してか
口調も態度も
厳しくなった

俺が好きなのは
姫じゃないのに…

俺が姫と
交流を持つにつれ

……でっ？

俺の部屋に
用か？

……

お前と
話すことは
何もない

えっと……
お話
できればなど

姫様はお前を
好いているが
俺は好かん

姫様に
相応しく
ない

……彼女は
国や民を想う
素敵な方だ

……
比べてだ
ナツミ……

この前に
竜との
戦いが
あったが
……

危険に
晒された
一人の
村人を前に

彼が語るのは
いつもいつも……

……

お前は対象の
討伐を
優先して
いただろう

国や民
そして
姫のこと……

ヴィンターの
大切なものごと



俺は
っ…!!



俺はっ…
姫じゃ
なくって

あなたが
好き
なんです



何言っ…

は…



姫様が
好きなら

彼女と同じ
民を想う
男に…

待つて
くれ!!



な

ナツミ？

聞いて
いるのか

つまらん
冗談を
言うなよ…

なあ

おいっ……!!



姫様の気持ちを

裏切って……



姫様は
お前が
好きな
だぞ!!

また
姫様かよ

こんなこと

こんな
状況でも…

理解^{わか}つて
くれないの
ならば

ん...

ね

冗談で
こんなこと
しないでしょ

まっ

待てっ...
頼む...

お願い
します...

俺が...姫様に
顔向け
できない...

い今なら

無かったことに
してやるから...

っ...

無かった
ことになんか
させませんよ

理解^{わか}らせて
あげればいい



あっ...
くそ...

う

触るな...
嗅ぐな...!



好き...
好きだ...

ナツミツ...

着込んだ
衣服で蒸れた
男性の香りが
する



はっ...♡
ヴァンター!♡

ぼっ!?



いいか…

召喚術しか
使えない…
俺が…あ♥

…
お前本気で
言ってるのか



やめ…

…はあ



しゅりゅ
しゅりゅ
しゅりゅ

おまえ
勇者につ

力で
勝てる
わけが…



そんなに
嫌がるん
だったら

逃げたら
どうですか？



俺より
大きいのに
俺より弱い



ああ！

そういえば…
そうでしたっけ



安心して
ください
ヴィンター
俺は
好きな子には
優しいので

へ…



それじゃあ

下
脱がせませすね



お前まさか
そっ…
最後まで…?

しますよ

サア…

無理だ!!

これ以上は
本当に
姫様に…

だ第一!!
男との
経験なんて
無いし…

大丈夫ですよ



スライム
か……？

ヌー

ドロ……



ああ？

準備
します
って

ほらこれ
なんだか
わかります？

と、い、い



ああ
知らない
のか……

魔物
だろうが
それは!!



なオイ!!
ふぎけ……



冒険者の
間じゃ
有名ですよ

ソレ……
穴を見つけると
巢穴と勘違い
してですね

い、い、い
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ

い、い

は……あ……



ナカに入って
いくんですよ

!?

ええ！
ええ！

ぶちゅう



腸の中身を
食べて
綺麗にして

体積を増やして
拡張もして
くれる上に…

催淫効果も
あるから
みたいで

冒険者の間で
有名っていうのは

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ



ほら

妊娠しちゃうと
冒険も難しいから

女性相手でも
後ろを使うことが
多いんですって…

ウィンター

おちんちん
舐めて
ください



い嫌…あ♡

嫌がられるの
傷つくんで
やめてもらって
いいですか

低級の魔物に
腹の奥まで
弄られながら

チンポ舐めて
くださいってば

とろ…

ズ
ズ
ズ

は
は
は



上と下から
覚えさせて
あげますねっ

俺の精液ッ…♡

ああ…お腹…
苦しいですか？





じゃあ
そろそろ
出しましょうか

へ？
え…？

あーっ
んっ

待…
っ

今そんな
弄ったらっ♡



んっ、んっ！
!?

うんち
ぽいっ♡

出ませんよ

空っぽに
したん
だから

あーっ…

太いの
ひり出し
ますね

これなら
余裕でチンポ
入るな…

どちゃっ♡



ほら♡

チンポ 入っちゃいますよ〜

ぐわっ



待ッ...

マル... マル...



催淫の せいだって ことですか?

いや それに しても...



ちが...♡

はあ... さっきから エロ声ばっか 出して...

お前がっ... ああ♡

おかしな ことを... するから だろっがっ

キッ キッ

ははは



ここまで
乱れるのは
なあ……

元々素質が
あったとしか

普通じゃ
ないですって

細胞すべてが
性感帯の自覚を
取り戻したん
ですかね

どこ擦っても
面白いくらい
反応が
返ってくる

ここまで露骨なのに
往生際が悪いな……

ふっ……♡

俺……はっ
そんなっ……

ム

素直に
謝れないん
ですか？

おふ
なんつ♡

謝るのは
俺にじゃなくて
姫にですよ

なんで…え♡
お前にっ
謝らねば
…っ♡

…認めていない
みたいですけど

俺から無理やり
迫ったとはいえ
結果的に

姫の想い人を
たぶらかして
感じ入ってる
わけですから

突然
なに…

は…

幻滅
どころじゃ
ないでしょ？

残念ながら
嫌でも
認めることに
なりますよ

あなたの
ことだから
彼女の顔を
見たらきつと

だからミ

今のうちにミ
現実ちゃんと見て
謝りましょう

勇者様のチンポで
気持ちよくなつて
いますって！

それっ…♥
やめるオッ!!

ややだ!
やだっば!

もしかして
そろそろ
イクのかな?

それは
いいですね
言い逃れ
できなくて

ゆたっ

ゆたっ

ゆたっ



は...あ
わかり
ました？

.....まあ
射精までして
わからないは
ないか

ほんとに
姫に顔向け
できない
ですね

俺たち

ヴィンター

ヴィンター...？



あ！

勇者様
っ！

ああ
姫……

ヴィンターも！
探していたのよ

勇者様と
一緒に
いたのですね

ええ少し
お茶を
……

……？
ヴィン
ター……？

どうし
たの？

何か様子が
……

お茶を？
二人でなんて
珍し……

……



ね？
ですよね？

え……
ええと……



大丈夫
ですよ



……っ
大丈夫
です……
ご心配
おかけ
して……
その

申し訳……
ごさいません
……



Illustration by 山田こう

『俺よりデカくて弱い召喚士さん ~想いを遂げる無理矢理セックス~』

©山田こう

